

2級建築施工管理技術検定に合格するためのノウハウを先輩から後輩へ伝えます**1 2級建築施工管理技士補とは**

2級建築施工管理技士補とは、2級建築施工管理技術検定の第一次検定に合格した者に与えられる資格のことです。その後、第2次検定を受検し合格することで、2級建築施工管理技士の資格を取得できます。2級建築施工管理技士補の第1次検定のみ受検する場合、受検年度末で17歳以上であれば実務経験などを問わず、誰でも受検することができます。監理技術者不足の問題を改善するための手段として、建築施工管理技士補は建設現場で必要とされています。

2 試験内容

2級建築施工管理技術検定の第1次検定は、「建築学等」「施工管理法」「法規」の検定科目から構成され、回答形式はマークシートにおける選択式となっています。

3 2級建築施工管理技術検定合格率

年度	試験	受検者数	合格者数	合格率
令和6年度	第1次検定(前期)	13,664 人	6,588 人	45.2%
	第1次検定(後期)	22,885 人	11,550 人	50.5%
令和5年度	第1次検定(前期)	13,647 人	5,150 人	37.7%
	第1次検定(後期)	27,116 人	13,387 人	49.4%
令和4年度	第1次検定(前期)	13,474 人	6,834 人	50.7%
	第1次検定(後期)	12,871 人	5,470 人	42.5%

4 検定に合格するためのノウハウについて

2級建築施工管理技術検定に合格するためのノウハウを先輩から後輩へ伝え、来年度も全員がそろって合格できるよう、それぞれの学生から勉強法をはじめ、試験対策について話していただく。

【後輩へ伝える主な項目】

- ① 資格ごとに戦略は異なる。
- ② いきなりテキストを読み始めないこと。
- ③ 最初に過去問を解くことから始める。
- ④ 隙間時間を活用することの大切さ。
- ⑤ 資格試験のためのツールをうまく利用する。